

平成23年度 船橋市病院事業計画書

● 事業概要

I 診療科目 22科

内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・代謝内科・緩和ケア内科・精神科・小児科・外科・
整形外科・形成外科・脳神経外科・呼吸器外科・心臓血管外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・
眼科・耳鼻いんこう科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科

(平成23年7月から歯科口腔外科を追加予定)

II 病床数

一般病床 446床 (緩和ケア病棟:20床、その他:426床)

III 施設

A館 鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上8階建

B館 鉄筋コンクリート造 地上6階建

C館 鉄筋コンクリート造 地上5階建

D館 鉄筋コンクリート造 地上3階建

E館 鉄筋コンクリート造 地下1階地上5階建

感染症外来診察室 鉄骨造 平屋建

院内保育所 プレハブ造 平屋建

立体駐車場 鉄骨造 地上3階屋上建

● 事業計画

I 23年度患者数及び患者1人当たりの平均単価(目標)

1. 病院全体

入院	年間延べ患者数(緩和ケアを除く) :	138,000人
	患者1人当たり平均単価(緩和ケアを除く) :	59,915円
	新入院患者数(緩和ケアを除く)	11,100人
外来	年間延べ外来患者数 :	236,924人
	患者1人当たり平均単価 :	12,291円
	初診患者数(救急を除く)	22,640人

【内訳】

(1) 一般病床

入院	年間延べ患者数 :	69,000 人
	1 日平均患者数 :	189 人
外来	年間延べ外来患者数 :	225,212 人
	1 日平均患者数 :	923 人

(2) 救命・救急病床 (2 次 + 3 次)

入院	年間患者数 :	69,000 人
	2 次 年間延べ患者数 :	66,200 人
	1 日平均患者数 :	181 人
	3 次 年間延べ患者数 :	2,800 人
	1 日平均患者数 :	8 人
外来	年間延べ患者数 :	11,712 人
	1 日平均患者数 :	32 人

(3) 緩和ケア病棟

入院	年間延べ患者数 :	4,400 人
	1 日平均患者数 :	12 人
	1 日当たり包括医療費 :	39,700 円

II 病床稼働率

一般・救急病床 :	88.5 %
緩和ケア病床 :	60.1 %

Ⅲ 23年度の重点推進事業

1. 診療機能の充実

項目	目標
(1) 医師の負担を軽減し、確保に努める	作業範囲を明確化する。
① 医師事務作業補助者の作業範囲の明確化	
(2) 看護師の確保に努める	7対1などに必要な看護師数を確保し、7月までに看護師配置基準7対1を取得する。 三交替制・二交替制を併用する。 院内保育所の定員増に向けた検討体制の整備する。
① 看護師配置基準7対1への移行	
② 看護師採用試験の随時実施	
③ 就職フェア等への積極的な参加	
④ 看護師の出身学校に対するPR活動の強化	
・ 卒業式・入学式への祝電	
・ 看護学校への挨拶回り	
⑤ 三交代制・二交代制の併用	院内保育所の定員増に向けた検討体制の整備する。
⑥ 院内保育所の充実	
(3) 専門分野における看護師の育成	がん化学療法または緩和ケアの認定看護師が1名以上いる。 看護師が退院調整に関する研修に派遣し、急性期病棟等退院調整加算1を取得する。
(4) 医療の質の向上	がん化学療法または緩和ケアの認定看護師が1名以上いる。 看護師が退院調整に関する研修に派遣し、急性期病棟等退院調整加算1を取得する。
① 歯科口腔外科の開設	
② 急性期のリハビリテーションを充実	
③ 地域がん診療連携拠点病院としての機能の充実	
④ 乳がんセンチネルリンパ節生検におけるアイソトープ併用	
⑤ 内視鏡的大腸粘膜下層剥離術の実施	
⑥ 服薬指導の充実	
⑦ 栄養指導の充実	入院栄養指導500件以上 外来栄養指導500件以上 集団栄養指導150件以上 実施
(5) 救急医療の充実	救命救急センターの医師を増員する。(兼務を含む)
① 救命救急センターの医師の確保	
② 救急病床数確保のためのSCUの設置	脳卒中ケアユニット入院医療管理料を取得する。

2. 地域医療支援病院としての地域連携の充実

項目	目標
(1) 地域の医療機関との連携を強化	連携医を142医療機関以上にする。22年度に訪問していない連携医療機関を訪問する。連携プレスを毎月発行する。
(2) 地域連携共用パスの活用	一部のパスを活用する。

3. 教育、研修、研究の推進

項目	目標
(1) 治験の実施	治験を実施する。
(2) 学会・研修会への積極的な参加	全職種が参加する。

4. 施設、医療機器等の整備充実

項目	目標
(1) 施設・設備等の整備	
① B館エレベーター更新工事	工事完了
② 熱源機等改修工事	24年度中に工事完了
③ 空調機改修工事	工事完了
④ B館防水工事	工事完了
⑤ 焼却炉撤去工事	工事完了
(2) 情報管理システムの整備	
① 検体検査システム	導入
② 輸血管理システム	導入
③ 病理検査システム	導入
(3) 医療機器の整備（以下は高額医療機器）	
① X線撮影システム	導入
② X線テレビ透視装置	導入
(4) 高度医療機器の計画的な更新	
医療機器の活用状況を把握し、計画的な更新を実施する	臨床検査科、放射線技術科、薬剤部の台帳を整備する。
(5) 省エネ対策の推進	
B館防水工事及び空調機改修工事による二酸化炭素の削減	一定の二酸化炭素が削減されている。

5. サービスの充実と市民への情報発信

項目	目標
(1) バス停の敷地内への移設	バス停を敷地内に移設する。
(2) 院長への手紙に対する回答を院内に掲示	掲示している回答を定期的に更新する。
(3) 院内コンサートの実施 (年6回)	年6回実施する。
(4) 広報活動	
① 医療センターNewsの発行 (年4回各2,500部)	年4回発行する。
② ホームページへの最新情報掲示	情報を随時更新する。
③ 公開医療講座の開催 (年4回)	年4回開催する。
(5) 病院ボランティアの活用	
案内業務以外の業務へのボランティアの拡大	ボランティアの業務を拡大する。

6. 経営の健全化

項目	目標
(1) DPC対象病院としての対応	適切なコーディングをする。
① DPCへの速やかな移行	
(2) 材料費の削減	
① 採用医薬品の見直し	採用医薬品1,493品目(22年10月現在)を1,418品目以下に削減する。
② 後発医薬品(ジェネリック)の導入促進	ジェネリック薬採用比率を7%以上にする。 (採用医薬品1,418品目中99品目以上)
(3) 委託費の削減	医業収益に占める割合を12.3%以下に維持する。
① 仕様内容の見直しの検討	
(4) 広告の活用	広告を採用し、費用の削減か収入を得る。